

羅針盤-卒業記念号-

COMPASS

KANSAI GAIDAI KYOSHOKU JOURNAL

教職をめざす学生・卒業生のために

第136号 2023.3.11(土)発行

関西外国語大学

教職教育センター

お祝いの言葉「卒業・進級おめでとう」

教職にかかわる先生方より、みなさんへお言葉をいただきました。
今日のハシの日みなさんへ。

「心の羅針盤」

～自分の可能性を引き出すために～

英語キャリア学部 教授 浦嶋敏之

みなさん、ご卒業おめでとうございます！

先日、「国立ハンセン病資料館」を訪問し、ハンセン病患者に対する差別・偏見が生まれた経緯やそれを回復するためのあゆみについて学びました。展示物や証言映像から、人としての尊厳を守り抜く魂の叫びを感じ、強く心が揺さぶられました。同時に、すべての人が自分らしく生きるために、人の関係を紡ぐ教育の役割が如何に重要であるか再認識させられました。

グローバル人材として次のステージに旅立つ皆さん、すべての人が幸せを追求できる社会を築く一員として、語学力やICT活用技能はもとより、人とのつながりを大切にできる豊かな人権感覚を磨くことを大切にしてください。そして、「誰ひとり取り残さない！」という



母娘遍路像*(資料館玄関)

“SDGs”と“GIGA スクール構想”の共通の理念を具現化するために、皆さんの人権感覚を「心の羅針盤」として実践を積み上げてください。

大学で本気で取り組んだ経験は、人（先生）として、すべてみなさんの宝です。この宝は、これからも自分らしく学び続けるエネルギーになります。「心の羅針盤」を大切に、自分らしく楽しみながら、無限の可能性にチャレンジし続けてください。

“GO FOR it!”

* 母娘遍路像「空を見上げる二人は、いつか必ず訪れるハンセン病の治る時代到来を、母娘が共にわが家で暮らせる時代の到来を、じっと目を凝らして見つめているのです。」（説明板より）

ご卒業、おめでとうございます！



短期大学部 教授 明石一朗

教育職をめざす卒業生のみなさんに最大のエールを贈ります！

学校で働く人を一般的に「先生」や「教員」と言いますが、教育職は、子ども一人ひとりの良さに心を寄せ、その輝きを促す使命と責任を伴う仕事です。教育という仕事は、毎日「人格と人格の格闘」です。

そう考えると、教育という仕事は、高度な「専門職」としての自覚を持たなければならないと思います。単に「先に生まれた者」（先生）や「教える者の一員」（教員）ではないのです。

戦前は、教師のことを小学校低学年では「補導」、小学校高学年では「訓導」、中学校では「教諭」、高等教育では「教授」と呼びました。

「補導」「訓導」は、教えて正しい方向に導くこと、「教諭」は、道理をよくわかるように話し聞かせ諭すこと、「教授」は人類が到達した最高の英知を教え授けることを指します。

昨今、「ゆとり」から「学力向上」へと、何かと教育潮流の変化が激しいですが、要は、子どもに大事なことを教え、深く考えさせ、より良き人として生きていく力を育むこと。換言すれば「自己実現」と「社会貢献」ができる人間の育成にあると思います。

教師は、毎日の授業を通じて子どもの内なる「良きもの」を見つけ、引き出し、深め、その子どもならではの「輝き」を発見し導く仕事です。

そのためには、

- ・子どもの叫び声に常にアンテナを高くし、子どもの姿は教師の責任であるという自覚を持つこと。
- ・子どもの何気ないつぶやきに心寄せ、そこに普遍的な価値あるものが隠されていることを見抜くこと。
- ・ある子どもの意見を他の子どもにつなげ集団としての高まりを意識的に追究すること。
- ・一人ひとりの違いのすばらしさに気づき、違いを豊かさに変える肯定的な感性を持つことなどが大切です。

なぜ、私たちは学ぶのでしょうか？それは、人としてより良く生きるためであると思います。

学びは、人の上に立つことではなく、人の役に立つことに意味があると考えます。

※本学の卒業生として常に自覚と誇りを持ってご活躍されんことを期待しています。



やりたいことが出来る仕事

英語キャリア学部 教授 坂本暢章

「過労死ライン」「教職の危機 - 民間へ」「進めぬ働き改革」・・・年明けのメディア各紙の見出しを拾ってみました。晴れて卒業する皆さんへの花向けとしては、やや不適當な言葉が並んでいますね。

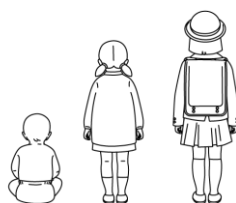
確かに教員の勤務実態は見直す点が多いと思うし、「給特法の見直し」や「定数改善」「業務内容の削減」は確実に進めていく必要があると思います。でも、僕は知っています。

- ・ 8割の先生方は教員生活に満足していること。(小学校 82.4%・中学校は 79.5%・高校は 80.5%)
- ・ 今すぐ仕事をやめたい人が、全体では 30%程度いる中で、教員を辞めたい人は 2%前後なこと。
- ・ 多くの先生方が仕事は楽しいと答えていること。(小学校 86.3%・中学校 81.5%・高校 81.1%)

世間では“ブラック”とか“燃え尽き症候群”とか喧しい議論が行われていますが、実際に現場で頑張っている先生方は、日々やりがいを感じて、いきいきと働いているのです。

不思議なようですが、この理由はとても簡単なことで、先生になった人たちは、教員という仕事にマッチした人たちがなっているのです。君たちもそうでしょうか？

教員は“やらされる仕事”ではありません。“自分のやりたい”が仕事の原動力であって、その達成が“やりがい”につながるのです。さあ！自信を持って“自分のやりたい”を実現しにいきましょう。



卒業を迎えるみなさんへ

外国語学部 准教授 川村悟

ご卒業、おめでとうございます。みなさん、それぞれの進路に向けた活動を通じて、きっと忙しく過ごされたことと思います。卒業を無事に迎えられ、ほっとされた方々も多いのではないのでしょうか。

みなさんは教育実習という貴重な経験を積まれました。初めて教壇に立った際、これまでにない緊張を感じた方も多かったと思います。普段、学生の立場で授業を受けるみなさんですが、教壇に立つと同じ教室でも目に映る風景はまったく異なったはずです。多くの生徒の視線が自分に注がれるというのは、教員ならではの希少な経験かと思います。

そのような緊張感のなか、実習初日は思うように授業を進められないと感じた方も、終盤は試行錯誤しながら乗り切ったのではないのでしょうか。卒業後、社会人として教育実習のようにプレッシャーを感じる場面もこれから数多く経験されるかと思います。そのような時には、自分が教育実習の際にどのように取り組んだのか、初心にかえって思いだしてみるのもよいかもしれません。みなさんの今後のご活躍を期待しています。



若い時の苦勞は買ってでも

短期大学部 教授 藤林富郎



ご卒業、ご進級、おめでとうございます。この関西外大で皆さんと出会えたこと、大変嬉しく、心より感謝しています。ありがとうございます。

さて、この三年間、私たちは皆、新型コロナという地球規模の問題に向き合うことを余儀なくされました。その間、まさに地球規模で、国レベルで、そして、地域・個人レベルでも、様々な試行錯誤がなされてきました。そして今、季節性インフルエンザ同等の感染症扱いという所に落ち着こうとしています。

この人類の一大事と大学生活という人生最高の成長の時の一つとが重なった皆さんは、恐らく自覚されているように、まれにみる経験をされました。そのご経験は、この 21 世紀を生きていかれる皆さんにとってある意味、掛け替えのない学習経験だったのではないのでしょうか。

こんなことが起きようなどとは知る由もなかった大正生まれの我が母ですが、しばしば私たち家族

に「若い時の苦勞は、お金を払って買ってでもしなさい。」と『経験こそ最高の教師』と言うことを、繰り返し教えてくれました。それは、今でも、否、今こそ当てはまる教訓ではないでしょうか。

この三年間の未曾有のパンデミックの中で、皆さんは何を考えられましたか？

「過去は自信、未来は希望、現在は勇氣」と、我が尊敬する A 先生がよくおっしゃるように、外大での学生生活は皆さんにとって、今や、「現在と過去」になり、「勇氣と自信」となり、今後の皆さんの人生をしっかりと支えてくれることでしょう。私からは”Be a person of grit.” ”Be resilient.” ”Never give up.”を餞の言葉としてお贈りします。人生はすべからく、「七転び八起き」いつも笑顔で！

Appendix: “You can’t please everyone.” 40 年以上の教員生活でよく感じることです。

“There is only one way to avoid criticism: do nothing, say nothing, and be nothing. アリストテレスの言葉ですが、ひたすら批判を避けるために生きるなんて嬉しくないのでは？ 貴方は、どう思われますか？



識別する知恵

短期大学部 准教授 堅田利明

ご卒業おめでとうございます。

今日は人生のひと区切りを迎える日ですね。どんなご心境ですか。ふり返ってみられて、どんな景色が最初に浮かんでくるでしょう。喜びのあの瞬間、達成感に満たされたとき、友情の恩恵、出会いと自己成長、苦悩にさいなまれていたころ、別離による悲嘆、無念さが残る出来事、屈辱感に沈んでいたころ、どうにもならないことをただただ受け入れるしかなかったことなど、ご自身の道程に刻んで来られた様々な思いがあることでしょう。

米国の神学者Reinhold Niebuhr (1892-1971) は、祈りの言葉を次のように残しています。アルコールや薬物依存症、神経症の克服を支援するプログラムに用いられ、広く知られるようになりました。

O God, give us
serenity to accept what cannot be changed,
courage to change what should be changed,
and wisdom to distinguish the one from the other.

(神よ、変えることのできるものについて、それを変えるだけの勇氣をわれらに与えたまえ。変えることのできないものについては、それを受け入れるだけの冷静さを与えたまえ。そして、変えることのできるものと、変えることのできないものとを、識別する知恵を与えたまえ。；大木英夫 訳)

この三つは人生を賢明に生きていく上で大切な観点となり得るでしょう。そして、感謝の気持ちと、それを言葉にして伝えていけることができるなら、それは素敵なことではないでしょうか。今日がそんなひと時になりますことを。



学ぼうとする意欲づくりがあなたを支え続ける

英語キャリア学部 教授 塚田泰彦

ご卒業おめでとうございます。

コロナ禍で長く続いたオンライン授業の体験も、ネット社会での新たな学びのへとあなたを引き上げてくれたことと思います。比較的安定した近代的な知識体系を一コマコマ記憶し再生するというこれまでの伝統的な学びはすでに縮減し、その学びも検索システムの暴走によって、大きく変貌を遂げました。知識基盤社会での「知識」概念は、近代的な知識体系の価値をネガティブに相対化しつつ、これを革新的な枠組みで再定位することを迫っています。今後どうすれば有意義な学びが私たちに保障されるのでしょうか。

教育政策の世界的動向も、この革新的な視野の模索を続け、「知・情・意」のバランスの再考による伝統的な教育の再編を促しています。おそらく「知」への新たなアクセスにつながる「学ぼうとする意欲づくり」こそがこの再編の焦点となることでしょう。

卒業後どのようなキャリアを選択したとしてもこの「意欲づくり」の大切さは変わらないでしょうが、とくに教職に就くみなさんにとっては、次世代を担う若い学習者と共に学びつづけることが生活の中心となりますので、この大切さを自覚することがなによりも教員としての生き甲斐につながるはずです。

学ぶことの楽しさを第一に考えて、希望をもって新しい教職生活に飛び込んでください。



羅針盤を作る努力、磨き続けるしなやかさ

英語キャリア学部 准教授 山本泰明

卒業、進級おめでとうございます。この3年間のコロナ禍において、皆さんは苦勞の多い学生生活だったと思います。そういった皆さんの学生生活を見ていて改めて思うことは、「心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進」してほしいということです。これは教科「体育」の目標の文言の一部であり、体育はこのための「資質・能力を育成する」ための教科であると学習指導要領で明示されています。コロナ禍の逆境の中で培った力を生かして、皆さんには生涯にわたって心身ともに健康に生きていってくれることを期待します。また、小学校現場で働く人には、次世代の子どもたちが心身の健康を保持増進していくための資質・能力が備わっていくように導いていってくれることを期待します。

この冊子の名前は「羅針盤」ですが、皆さんにとっての人生の「羅針盤」はどのようなものでしょうか。長い人生の中でこれからたくさんの困難に出会い、迷い、悩むことがあるでしょう。そういったときに、自分の原点を見つめなおす、方向性を確認する、そういった自分独自の羅針盤を、これからも年月をかけて作り上げていけるとよいでしょう。その羅針盤の原点が、大学生活で培った「信念」、「経験」、「仲間」であるとよいなと思います。ポストコロナ時代に向けて、心身の健康を保持増進して、皆で頑張っていきましょう。



「新しくなっていく教育界に期待をしながら歩みましょう」

英語キャリア学部 教授 森田健宏

みなさん、ご卒業おめでとうございます。次年度から教諭になる方も、もう少し待つよう告げられた方も、ぜひ、未来の子ども達の笑顔のために、自信と誇りを持って、しっかりと歩んでいただきたいと思います。さて、この四年間に、教職に関する様々な学びの中で、教育に関する制度や取り組み方がめまぐるしく変わっていく様子を目の当たりにしてきた世代であるみなさんの中には、今後、教育界はどうなっていくのか不安に感じている方もいるかもしれません。GIGA スクール構想の導入から Society5.0 時代へ、生徒指導提要の改訂に見る様々な課題への対応について、働き方改革による教師の役割や専門性についてなど、数多く挙げられるかと思いますが、しかし、世間の大きな流れとして、

少子化の中、まず教育界をより良いものにしないと、という考えについては、誰もが感じていると思います。みなさんの多くはその最前線で活躍されるわけですが、時代の流れに柔軟に対応できるよう知性や特技を磨き、それを仲間と分かち合い、「互助の精神」を大切に歩み続けてください。そうすれば、新しくなっていく教育界の未来はきっと明るいものになるはずです。



未来を作っていく、そして未来に生きるみなさんへ

外国語学部 教授 梶田純子

まず、ご卒業おめでとうございます。ようやく、社会人になるという不安と期待で、今お過ごしのことと思います。

みなさんの大学生活は、コロナウィルス、それに伴う生活の変化との戦いだったと思います。また、リアル紛争や戦争のニュースでも心を痛められたでしょう。

私たちが生きていく限り、このようなネガティブなこととの戦いなのかもしれません。しかし、それを乗り越えたみなさん、ご自分を褒めてあげてください。

そして、教職に就かれたら、まだ不安と戦っている児童・生徒に寄り添ってあげてください。

時には、あなた自身が辛いことも少なくないと思います。その時に、今は辛くても、きっと乗り越えられると自分に言い聞かせてください。私もそうしてきました。

若い方々の成長・活躍を見ることは、私たちの喜びです。一步一步でも、前に進んで行ってください。応援しています。





Congratulation !
ご卒業
おめでとうございます



英語キャリア学部 教授 新坊 昌弘

我が家のチャイです

貴重な大学生活の半分を新型コロナウイルスの猛威に奪われてしまったみなさんでしたが、無事に今日の日を迎えられたことを心から嬉しく思い、お祝い申し上げます。

昨今、目にする教育に関わるニュースには、残念なことに明るい話題はほとんど見当たりません。教職に就かれるみなさんの中には、不安を抱かれている人もたくさんおられるのではないのでしょうか？ 多忙な日々の業務に耐えられるだろうか、いじめは起こらないだろうか、授業は上手くできるだろうか、保護者の方々との対応は上手にできるだろうか、……。不安や心配を数え上げるときりがないかもしれませんね。でも、大丈夫です。仕事は時間が経てば慣れていきますし、志しだいでは技術はいくらでも高めることができます。大事なことは、子ども達を前にしてからの自らの成長です。4月からが新たなスタートです。焦らず、慌てず、諦めず、学び続けて下さい。

仕事の量やそれをこなす技術的な心配はさておき、4月、目の前には、みなさんのことを「先生」と呼ぶ、目を輝かせた子ども達の姿があります。みなさんは、どのような先生として子ども達の前に立つのでしょうか。答えは、みなさんが小学生だったときの記憶にあります。みなさんが好きだった先生、みなさんから慕われた先生、みなさんが信頼を寄せた先生とは、どのような先生だったのでしょうか。しっかりその教師像を思い出してみてください。まずは、そんな先生でいてあげることが大切です。みなさんを困らせる子、なかなか心を開いてくれない子もいるかもしれません。でも、そんな子ども達ほど、実は先生の存在を必要としているのです。[すべての子ども達にとって「いい先生」](#)になってあげて下さい。

最後にジム ヘンソンの言葉を贈ります。「ジム ヘンソンって？」と思う人も多いことと思います。アメリカである有名な人形劇「セサミストリート」を制作した映画監督・プロデューサーであり人形使いです。

Kids don't remember what you try to teach them.

子ども達は、あなたが教えようとするのを忘れてしまいます。

They remember what you are.

でも、あなたという人間は覚えています。



Jim Henson

ジム ヘンソン

Happy Graduation Day !

英語キャリア学部 教授 村上明子

皆さん、卒業おめでとうございます。今日を迎えて、これまで経済的にも精神的にも、皆さんをずっと支えてこられた家族の方々もさぞやお喜びのことでしょう。

皆さんは、学生生活の半分近くを、コロナウイルス感染症による様々な制約の中で過ごさなければなりません。教育実習も教育ボランティアも思うに任せず、思い描いていた大学生活とは全く違った、不安な日々を送られたことでしょう。私たちも、万一に備えて、随分厳しい願いをしなければなりません。

しかし、みなさんはそのような状況の中でもそれに屈せず、オンライン講義によく適応し、より高度なコンピュータ・リテラシーを習得し、ZOOMを新たなコミュニケーション・ツールとして仲間と強固な関係性を築きました。そればかりか全学年に声をかけて運動会を主催したことは称賛に値します。

困難に立ち向かい、むしろそれをバネにして高く飛び上がり、新たな力を獲得していったみなさん。これからもそのファイトではるか上空に舞い上がり、大空を力強く羽ばたいていってください。

This is the beginning of a bright future !

皆さんのご活躍を心から願ってやみません。



未来を創り続ける皆さんへ

外国語学部 教授 篠原郁子

ご卒業、おめでとうございます。大学での学びを終えて社会へ羽ばたいていかれる皆さんに、心からの祝福を送りたいと思います。

大学では様々な学びがあったことと思いますが、教職課程を修めていくことは、必ずしも簡単なことではなかったらうと想像します。講義を受けて頭を使う学びだけでなく、実習体験では心も体も動かしながらの学びでしたでしょう。授業研究、教材研究は、目も耳もよく使って学んできたことと

思います。そうやってあなたが全身をまるごと使って、全感覚を研ぎ澄まして学んできたことは、あなたの身体のすみずみに刻まれています。自信をもって、どんな場にも、堂々と進んでいってください。緊張する場面や、不安を感じる場面が、現実世界にはあるやもしれません。けれども、学びの経験は、決してあなたを裏切りません。どうしよう、こうしようと頭で考えていては動けなくなってしまふような時でも、あなた方はきっと、目の前の子ども達にあたたかい手を差し伸べられる。そういう力を、心根を、皆さんは持っていると感じます。

学校の先生という仕事や立場には、専門性や責任など社会から厳しく求められることも多いものです。けれども、人の成長に関わることができる、最高に面白くて価値のある、創造的な仕事だと私は思います。皆さんが、そして皆さんが育てる子どもたちが、この世界の未来を創っていくのですね。それは大きな楽しみです。すてきな未来の世界を、どうぞよろしくお願いしますね。



それぞれの巣立ち

英語キャリア学部 教授 山下吉信

関西外国語大学・短期大学部を巣立つみなさん、ご卒業おめでとうございます。学生生活はいかがだったでしょうか。

今、私がみなさんに伝えたいことは「未来はあなた方が創っていくのだ」ということです。未来をつくるのはなにも歴史に名前を残すような偉人たちだけではありません。その時代を生きる人一人ひとりが創り上げるものだと思っています。

そのために、若いあなた方にぜひお願いしたいなと思うことを二つ述べます。ひとつは、さまざまなジャンルの本を読んでほしいこと。あとひとつは、自分の周りの人々とのつながりを大切にしてほしいことです。自分の気持ちや考えを言葉で伝えるとともに、相手の気持ちや考えを聞き、十分受け止めて、よい関係を築いてほしいと思います。この二つのことをぜひ実行してほしいと思っています。そうすれば、あなた方の今後の人生が実りあるものになり、それが、世の中に実りある未来をもたらすと信じています。

周りを見てください。素敵な仲間がいます。そしてあなたたちには、自分が必要とされ、頼りにされている場所、自分で自分のよさを認め「わたしはできるんだ」という気持ちが高ぶる場所があります。

あなたたちと出会って幸せです。あなたたちには感謝の言葉しかありません。あの時あの時の出来事を思い出として心の中にしっかりとおさめます。

大いなる未来へ歩む皆さん！！自分らしさを思う存分發揮して羽ばたいてください。思い切り応援しています。

「ハングリーであれ！！愚か者であれ！！」(スティーブ・ジョブズ)

All the best for a bright future ahead of you!



英語を学ぶ楽しさは味わえないのか？

短期大学部 教授 村上裕美

英語嫌いな人が増えている現状や、英語が理解できないまま放置されているのはなぜか、また楽しく思えないのかという問いを繰り返してきました。この問いの答えとして、「楽しい授業にする」という回答は誰もが思いつくことですが、いったいどれだけの教員が実践できているのでしょうか。こう問いかける私自身も常に自問しています。「楽しい」という抽象的な言葉の中には、「興味や関心が刺激される」、「よく理解できる」、「学んだことが実を結んだ達成感や成功体験を持つ」、「実際にコミュニケーションできた」など幅広い意味を持っています。外国語に親しむためのゲームや歌による楽しい体験から始まり、次第に知的好奇心が活性化され、学びの工夫を試行錯誤しながら、実践的な言語活動を経験し、喜びや成長を自覚することから、さらなる学びへと繋がることは誰もが周知しています。実際の教室における英語学習はこのような効果的な成長のサイクルを循環させることができているのでしょうか。「楽しい」という思いは、学修者が感じることであり、教員の視点とは異なることから、「学習者中心となる学び」の考察が重要だと思います。同僚や研究仲間とこの点を研究しながら英語を学ぶ楽しさをいかに体験させることができるかを追及していただきたいと願います。



Each Day Is a New Day 「日々是新」の^{スピリッツ}精神

外国語学部 教授 福永光伸

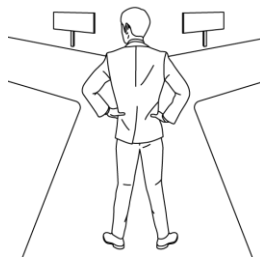
卒業おめでとうございます。「教職実践演習」の授業で4回生の皆さんと話をする機会がありました。その中で、教育実習等で困難な状況にあっても何とか乗り越えようと知恵を絞り、行動に移してきた轍を示してくれました。皆さんが大学生活で真剣に取り組んだことは、それが何であれ、今後の人生において大きな力となることは間違いありません。

皆さんが活躍する時代は、VUCA と呼ばれる予測困難な時代であり、国際紛争やエネルギー、環境問題等、新たな課題が山積しています。この時代にあって、自らの人生をどのように切り拓くべきなのでしょうか。

「経営の神様」と言われた松下幸之助氏は9歳で働くことを余儀なくされ、様々な職場経験を積む中で、独創性を発揮し二股ソケット等の電器製品を次々と開発されました。氏の著書「道をひらく」の「日々是新」の一節を読んだ時、私はなぜ氏が激動の時代を切り拓くことができたのか、少しわかったような気がしました。

『一日の苦労は一日にて足れり』というように、きょうはまたきょうの運命がひらける。きのうの分まで背負ってはいられない。」「日々是新なれば、すなわち日々是好日。素直で謙虚で、しかも創意に富む人は、毎日が明るく毎日が元気。」私は何かに行き詰まった時やマンネリ化に悩む時は、いつもこの言葉を思い起こします。素直で謙虚で創意工夫する精神（スピリッツ）を忘れなければ、たとえどんな困難なことであっても必ず動き始めるのです。

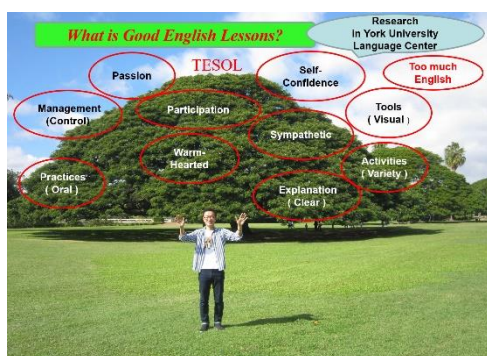
皆さん、卒業後も「日々是新」の精神で、先の見えないと言われている時代を切り進んで下さい。



Congratulation on your graduation!
“Contribute on Drastic Change for English Education!”
“Make much of Output English Education!”
“Go for your future! Keep it up! Hang in there!”

英語国際学部 教授 西村 孝彦

Congratulation on your graduation!



You should keep your wonderful memories with your friends to get teachers' license and to be a teacher in Kansaigaidai. We are very proud of the greatest English teachers' network in Japan. I hope you will contribute on English educational reform in Japan. I want you to make much of “Output English Education”. Don't be afraid of making mistakes!! Let's challenge anything on the job training for the

future.

A few years ago, I visited Hawaii to take the picture of this big trees which is famous for HITACHI Commercial. I hope you will be a great person (teacher) like this big tree with “Sense of Diversity and Flexibility”

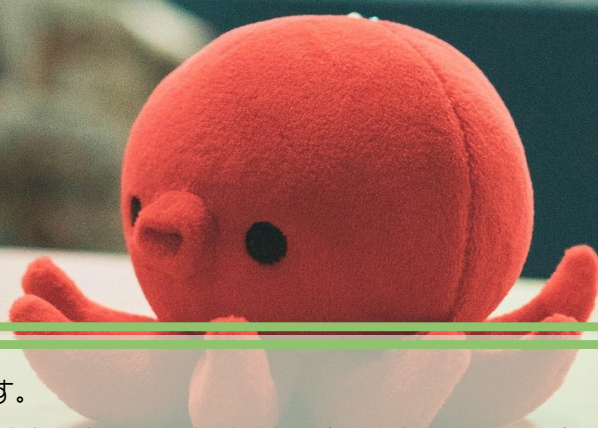
English teachers all over the world have been teaching with TESOL Method. It is effective and necessary for you to develop your teaching ability and change Japanese English Education. Japanese government has encouraged to take in TESOL Methodology for English Education in Japan. You will have many chances to study TESOL by being conscious of learning TESOL.

According to the research in York University Language center (England) on “What is a good TESOL lesson?” in the world, English teachers should keep passion, self-confidence, class management power, participation, oral practices, variety of activities, sympathetic power, visual tools, clear explanation, warm-heart and suing too much English. I am sure you can do it and you will contribute on English educational reform in Japan. Go for your future! Keep it up! Hang in there!!



Whatever you do, just keep it real. (常に自分らしく)
 Congratulation on your graduation! I wish you good luck.

い
っ
て
ら
っ
し
ゃ
い



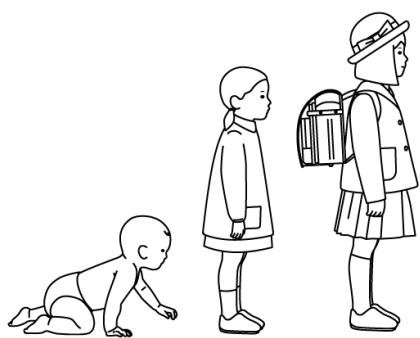
ご卒業おめでとうございます。

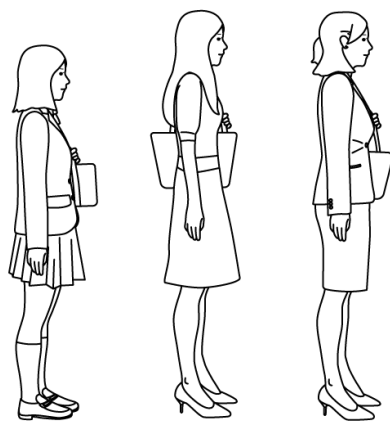
春から新生活ですね。多くの人と関わり、多くの経験をする中で、自分の中に引き出しをたくさんもつことができます。苦労した経験は、自分を強くし、身も心も成長させてくれます。失敗を恐れず、多くの経験から多くのことを学んでください。

教職教育センターの職員一同、みなさんをいつまでも応援しています！

またいつでも、教職教育センターに遊びにきてくださいね。

教職教育センター一同





*卒業
おめでとう*

